

# リハビリ通信

## 福祉機器展示会を活用しよう！

先月、10月2日から4日の3日間、東京ビックサイト東展示ホールで、国際福祉機器展（H.C.R）2024が開催されました。例年、出展が300社以上となるアジア最大規模の福祉機器展示会です。リハ科職員も、最新情報の収集や必要な機器を実際に確認するため、毎年参加しています。今回は、理学療法士の目線で福祉機器展のお話しをしたいと思います。



福祉機器展には、ご本人とご家族がより心地よく生活するためのヒントがたくさんあります。まず、生活場面で「こんな時に不便を感じる」とか「こんなものがあつたらいいのにな」を考えてみます。そして、展示会を見てまわりながら、こんな使い方ができるかもと考え、実際に説明を聞いて触れてみると、より実用的なものに出会えることがあります。もし、使用できるか分からない場合や迷う場合には、ブースのスタッフに声をかけます。一工夫した提案で使用できるようになることも多々あります。

多くの福祉機器の展示会は、年1回程度で定期的に行われていることがほとんどです。もし作製したい機器がある場合には、事前に展示があるのかをホームページ等で確認し、どの展示会に参加するかを計画します。実際に展示会へ足を運ぶことで、何を作製した方がよいか明確になり、生活がより快適で便利になるイメージを描くことができます。リハビリテーション科でもさまざまな福祉機器の作製等に携わっており、これからも利用者にとって使いやすい福祉用具の作製ができるよう、日々精進していきたいと思っています。

（リハビリテーション科 理学療法士 橋本）